

平成26年7月9日 盗撮、悲喜こもごも

ふっくんとさっちゃんの写真や動画を撮るとするのは、簡単なようでいて、実はすごく難しいことです。

なぜなら、**彼らは人間に心を開いてくれないから！**

コウノトリ支援本部は野生復帰を目指す施設なので、それを寂しく思ったことは一度もありませんが、困るのは、「**コウノトリの写真ちょうだい**」って言われた時です。

「**コウノトリを飼育している施設なんだから、いい写真がいくらでもあるでしょ？**」と思われがちですが、まあ見てくださいよ。人が行くと、コウノトリのヒナは警戒して、こうなります。



なるべく目立たないように伏せてしまっています。

さらに、写真では分かりづらいですが、さっちゃんの喉が膨らんでいます。**威嚇のクラッタリング**をしているのです。



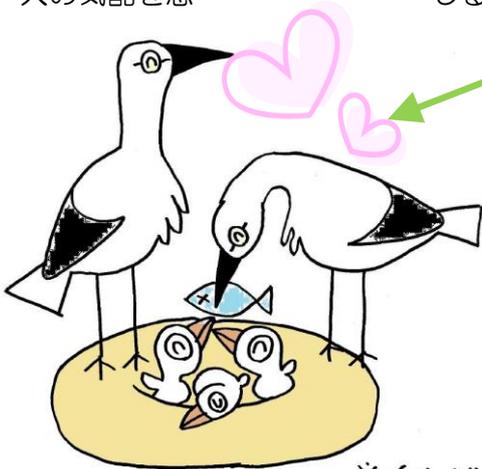
右の写真は先日、いいカメラをもってきた飼育員が、「**ちょっと撮ってきますわあ！任せとけ！**」と勇み足で撮ってきた

写真です。「**あかんかった…ショボン(ToT)**」とショボくれている彼からデータをもらって、大爆笑してしまいました。**これはなんですか？ひどすぎワロタwww**

人の気配を感

じると、まあ大体、誰が何時間粘ってもこんな写真しか撮れません。

**ホントはこんな写真が撮りたいのにねえ…**



※イメージ

ふっくんさっちゃんを追い払い、巣に昇って覗き込むようにして写真を撮れば、確かにヒナの写真は撮れるかもしれませんが。しかし、親鳥がヒナに餌を与えている写真とか、ヒナが立ち上がってパタパタしている写真とか、親鳥に甘えているほほえましい写真とか、そういう写真は、**絶対に**撮れません。

それどころか、ふっくんさっちゃんに、「**こんな危ないところで、もう二度と子育てなんかできないわ！**」と、恐怖を感じてもらっては、来年以降、繁殖行動そのものをやめてしま

うかも知れません。それは絶対に避けなければいけません。

**「こんな店二度と来るか！バカヤロー！！金払わねーからな！」**みたいな状況になってしまったら困るのです。

というわけで、スタッフは、検討と打ち合わせを重ね、試行錯誤して、ついに、**盗撮に成功しました！**見られているとは知らないコウノトリ親子の自然な姿が、間もなくホームページ上で公開されます。

**コウノトリ支援本部は、盗撮を推進していません。普通の盗撮は犯罪です。**